

## 令和8年度全国鉱山保安週間にあたって

九州産業保安監督部長 櫻福 錠治

貴鉱山及び関係団体の皆様には、平素より鉱山保安行政に対する格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和8年度の「全国鉱山保安週間」を迎えるにあたり、一言御挨拶を申し上げます。

全国鉱山保安週間は、鉱山における自主保安活動を推進し、保安意識の高揚を図るとともに、広く国民の皆様には、鉱山保安に関する認識と理解を深め、危害及び鉱害の防止に資することを目的として、昭和25年から毎年実施しております。その後、「国民安全の日（7月1日）」が制定された昭和35年からは、毎年7月1日～7日を全国鉱山保安週間とし、当該期間中、経済産業省では、各鉱山及び関係団体と連携・協力し、ポスター等の広報資料の作成・配布、ホームページ等による広報、講演会の開催などの取組を実施しています。

九州産業保安監督部では、本年度の全国鉱山保安週間に先立ち、管内の鉱山から保安標語の募集を行ったところ、18鉱山から計178作品の応募をいただきました。この場をお借りして、ご応募いただいた全ての皆様に、心より御礼を申し上げます。

応募作品については、関係団体の御協力の下、当部において入選5作品（特選1作品、入選4作品）を選考の上、ホームページにて公表するとともに、管内の鉱山及び関係団体へ短冊を配布しておりますので、皆様の職場における保安活動や保安行事などで御活用いただけますと幸いです。また、保安標語入選者の方々に対しましては、当該期間中に当部がご勤務先の鉱山を訪問し、表彰状を授与するとともに、保安講話を行うなど、保安行事に取り組むこととしております。

さて、令和7年における鉱山災害の発生状況についてですが、全国では2年ぶりに死亡災害が1件発生しました。罹災者数は計16名であり、前年から2名増加しました。

九州管内では、重傷災害が1件発生しました。罹災者数は計2名であり、前年から1名増加しました。事由別では、「火災」と「機械・工具・取扱中の器材鉱物」による災害が2件ずつ発生しております。

当部では、災害等情報の水平展開など、鉱山における危害及び鉱害の未然防止に向けて取り組んでいるところですが、今後とも、「第14次鉱業労働災害

防止計画」に基づき、鉱山災害の撲滅に向け、鉱山保安マネジメントシステムの導入促進やデジタル技術の活用などによる保安技術の向上など、労働災害の撲滅と、より合理的な保安対策を推進してまいります。

全国鉱山保安週間における官民連携による各種取組により、鉱業に携わる皆様の保安意識の更なる高揚と、皆様の職場での自主保安活動がより一層活性化されることを祈念しまして、私からのメッセージといたします。  
ご安全に。